

第8回ちびマッチ選手権福岡大会



- ① **抽選会**：令和元年 6月29日（土）
- ② **福岡大会**：令和元年 6月30日（日）
※65チームが参加
※自主対戦制により、可能な日程で試合を実施していく。 ～ 11月10日（日）
- ③ **九州大会**：令和元年 11月23日（土）
※九州7県より 11月24日（日）
代表32チームが進出 11月30日（土）
- ※予備日 12月 1日（日）

主催：ちびマッチ選手権大会実行委員会／後援：筑紫少年野球サンデーリーグ連盟



前年度優勝(大会二連覇)
大野城少年野球
(福岡県大野城市)

前年度準優勝
原北ウイングス
(福岡県福岡市早良区)





『第8回ちびマッチ選手権福岡大会』参加チーム一覧

1	青葉ベースボールクラブ	北九州 若松市	34	筑紫野サターズ	筑紫野市
2	青山少年	北九州 八幡西区	35	筑紫ビッキーズ	筑紫野市
3	赤間パイレーツ	宗像市	36	筑南ビクトリー	筑紫野市
4	東野少年野球	小郡市	37	月の浦フェニックス	大野城市
5	甘木ゴールデンフェニックス	朝倉市	38	堤ヤンキース	福岡市 南区
6	安德ヤングファイターズ	那珂川市	39	津屋崎ジュニアイーグルス	福津市
7	池田スラッガーズ	北九州 八幡西区	40	照葉ハンターズ	福岡市 東区
8	伊左座ヤンキース	水巻町	41	鳥飼クインビーズ	久留米市
9	怡土少年野球クラブ	糸島市	42	中井フェニックス	北九州 小倉北区
10	宇美ジュニアーズ球団	宇美町	43	長尾クラブ	北九州 小倉南区
11	大野城少年野球	大野城市	44	長尾ファイターズ	福岡市 南区
12	大野ヤングライオンズ	大野城市	45	那珂川マリナーズ	那珂川市
13	大原・三輪合同チーム	小郡市 筑前町	46	長住少年野球部	福岡市 南区
14	岡垣ベースボールクラブ	岡垣町	47	中間エンゼルス	中間市
15	岡垣ライナーズ	岡垣町	48	中間南ドリームス	中間市
16	小笹少年野球クラブ	福岡市 中央区	49	西花畑ウインディーズ	福岡市 南区
17	上津青雲	久留米市	50	西福岡マリナーズ	福岡市 西区
18	可也ジュニアロイヤルズ	糸島市	51	羽犬塚ウイングス	筑後市
19	雁ノ巣ゴールデンフューチャーズ	福岡市 東区	52	原北ウイングス	福岡市 早良区
20	京町イーグルス	久留米市	53	東風フェニックス	糸島市
21	草ヶ江ストロンガーズ	福岡市 中央区	54	東箱崎ドルフィンズ	福岡市 東区
22	鞍手ベアーズ	鞍手町	55	平野リトルジャガーズ	大野城市
23	木屋瀬バンブーズ	北九州 八幡西区	56	福岡ジュニアファルコンズ	福岡市 西区
24	桜野ホープス	糸島市	57	福岡三苦ヤンキース	福岡市 東区
25	志免ブラザーズ	志免町	58	二日市ジュニアーズ	筑紫野市
26	下広スターボーイズ	広川町	59	みくに野ハニーズ	小郡市
27	自由ヶ丘ファイターズ	宗像市	60	三瀬シアターズ	久留米市
28	城少レッドスターズ	福岡市 西区	61	宗像ブルーシャークス	宗像市
29	新宮ジュニアオーシャンズ	新宮町	62	姪北ブラックベイスターズ	福岡市 西区
30	高取少年野球クラブ	福岡市 早良区	63	夜須イーグルス	筑前町
31	太宰府ブレーブス	太宰府市	64	吉田レグルス	北九州 小倉南区
32	大刀洗ビッグドラゴンズ	大刀洗町	65	若久団地少年野球部	福岡市 南区
33	立岩クラブ	飯塚市			

(五十音順)

『第8回ちびマッチ選手権福岡大会』 開催要綱

主 催	ちびマッチ選手権大会実行委員会 (大会実行委員長：ちびマッチ応援団・団長 吉田光寛)
後 援	筑紫少年野球サンデーリーグ連盟 (大会後援会会長：筑紫少年野球サンデーリーグ連盟・会長 田畑照雄)
協 賛	ケーブルステーション福岡、三和シャッター工業株式会社九州事業部、 スーパースポーツゼビオ 春日店・ゆめタウン筑紫野店、 ダイワマルエス株式会社、株式会社ブルペンズ、株式会社山一 (五十音順、敬称略)
出 場 選 手	スポーツ保険に加入している小学四年生以下の男女。 ※ユニフォームや背番号が揃っていないなくても、試合出場やベンチ入りは可能。
出 場 資 格	一、小学4年生以下の選手で試合を行えるチーム。 二、試合を「自主対戦制」で主体的に進められるチーム。
開 催 趣 旨	一、上級生に比べて試合経験が少ない小学4年生以下のちびっこたちに、様々な地区のチームとの試合経験を積ませる。 二、様々な役割を参加全チーム・参加者全員で責任を持って分担しながら、特に自主対戦制を進める福岡予選リーグでは主体的・協力的に、全チームが共同で全試合の進行と管理を行っていき、様々な地区の多くのチームのちびっこたちや指導者・応援団の皆さんとの交流を積極的且つ主体的に図り、深めていく。 三、「優勝」や「メダル獲得」、そして、「九州No. 1」といった明確な目標を選手たちが持つことによって、野球に対するモチベーションを更に向上し、日々の練習をより懸命に取り組み、野球を今以上に好きになっていくことを図ると共に、野球の普及と振興や部員勧誘にも繋げる。
抽 選 会	日 時/令和元年6月29日(土) 10時00分～12時00分 会 場/大野城まどかぴあ・多目的ホール(福岡県大野城市曙町二丁目3番1号) 参加者/各チームの大人1～2名(指導者、もしくは、日程調整確認が出来る保護者) ※選手の参加/希望するチームは参加することも可能(ただし、1名のみ) ※パート別日程調整会議も行うため、出場チームは必ず参加すること。
↓	
福 岡 大 会	日 程/令和元年6月30日(日)～11月10日(日) 参 加/65チーム(1パート5チーム×13パート) →各パートの一位チーム/計13チームが九州大会に進出する。 進 行/自主対戦制(各パート内で試合の日時や会場等を決定して試合を実施し報告をする) 参加費/1チーム2,000円
↓	
九 州 大 会 ※九州7県から 32チームが進出	◇一日目/令和元年11月23日(土)：開会式、一回戦 ◇二日目/令和元年11月24日(日)：二回戦、三回戦(準々決勝) ◇三日目/令和元年11月30日(土)：準決勝、決勝戦、閉会式 ※予備日/令和元年12月 1日(日) 会 場/諸田グラウンド、松川運動公園、北谷運動公園、大佐野スポーツ公園、など 参加費/1チーム8,000円
表 彰	☆優 勝/優勝カップ、優勝トロフィー、賞状、金メダル(15個)、副賞 ☆準優勝/準優勝盾、賞状、銀メダル(15個)、副賞 ☆第三位/賞状、銅メダル(15個)、副賞 ☆最優秀選手賞(1名) ☆敢闘賞(3名) ☆最優秀出場行進賞(1チーム) ☆最優秀チーム紹介アナウンス賞(1名)
オ リ ジ ナ ル ー ル	①1試合：5回70分。 ②バッテリー間：14m、塁間：21m。 ③投球制限：一人一日1試合(1試合最長5回)まで。

開催規則

※指導者の皆さんだけでなく、選手や応援団の皆さんもご確認ください。

- ※本大会は、本大会の開催規則、及び、2019年度日本公認野球規則（少年野球に関する事項）・全日本軟式野球連盟学童細則に則って行う。
- ① 試合に出場できる選手は、スポーツ保険に加入している小学4年生以下の男女とし、各試合の開始時間15分前に交換するメンバー表に記名された選手のみとする（各試合ごとのメンバー表が最優先）。
 - ② ベンチに入れる選手の人数制限は設けない。その試合のメンバー表に記名された選手は全員がベンチに入れる。しかし、大人の人数は、代表者1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手の体調管理を行うお母さん2名の計7名以内とする（全て性別は問わず、代行者でも可）。
※ベンチと応援席との境界ラインはきちんと守ること。 ※ベンチからの撮影は一切禁止する。
 - ③ 選手や指導者は各チームで統一された、背番号付きのユニフォームを全員が同じように着用することが望ましい。しかし、「ちびマッチ」では一人でも多くの選手や指導者が試合に出場できたりベンチに入れたりすることを最優先とするため、ユニフォームがまだ全て揃っていない選手や指導者、背番号が付いていないユニフォームを着用した選手や指導者の試合への出場やベンチ入りを可能とする。
 - ④ 全ての試合は5回までとし、70分を越えると新しいイニングには入らないこととする。
※試合成立の条件は、4回を終了した場合、もしくは、開始後55分を経過した場合とする。
※時間厳守を全員徹底し、グラウンド上は選手も指導者も常に全力疾走を心掛けること。
※選手たちには「時間を気にすること」や「時間を守ること」、「全力疾走の大切さ」などを学び、上記の各規定内で試合が出来るように努めてほしいと思っております。ですので、指導者や応援団の皆さんも、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。
（例：必要以上にタイムを取らない、選手をむやみにマウンドに集めない、すぐにサインを出す、頻りに打者を呼び寄せない、プレイを止めてしまう声掛けを応援席からしない、等）
 - ⑤ 上記④の規定内で勝敗が決しない場合は、特別延長戦（無死満塁、打者継続、選手交代可）を1回だけ行い、それでも同点の場合は、球審によるコイントスによって勝敗を決する（表＝先攻チーム、裏＝後攻チーム）。
 - ⑥ 全試合、点差によるコールドゲームは無しとする。
 - ⑦ バッテリー間は14m、塁間は21mとする。
 - ⑧ 同一投手の投球制限は、1日1試合まで（1試合最長5回まで）とする。特定の選手のみ負担をかけ過ぎないようにするため（投手の体を守るため）、また、一人でも多くの選手にピッチャーの経験を積ませるため、1日2試合以上の投球は、たとえ回数が少なくても禁止する。
※1球投げて交代しても1回・1試合としてカウントする。 ※特別延長戦での投球もカウントする。
 - ⑨ 試合中の投手の準備投球（ピッチング練習）は登板直後は7球以内、以降は3球以内とする。
※投手の準備投球（ピッチング練習）を含む攻守交替は全力疾走で速やかに行うこと。
 - ⑩ 投手がボークと見なされる行為を取った場合は同一試合・同一投手に限り、一度目は注意としてランナーを元の塁に戻し、二度目からは勉強のため、通常のルール通りにボークを宣告することとする。
※ボークの場合、審判は、「なぜボークなのかの理由」と「正しくはどうすれば良いか」をその投手にその場できちんと伝えること。なお、2段モーションもボークの対象とし、上記の対応を取る。
 - ⑪ 申告敬遠は取り入れないこととする。
 - ⑫ 選手がホームランを打った場合、その直後にボール交換の希望を申し出て、新しい試合球を代わりに出せば、そのホームランボールと交換して、打った選手にプレゼントできる。
 - ⑬ 審判の判定は絶対とし、判定に関する抗議や質問は一切認めない。当然、暴言・野次等も厳禁とする。しかし、ルールに関する質問のみは監督（監督不在の場合は監督代行のコーチ）一名だけが出来ることとする。ただし、その者の質問するマナーが悪い場合、審判はその者に退場を宣告できる。
 - ⑭ 応援は必ず所定の位置で、マナー良く行うこと。特に、相手チームや審判に対する暴言・野次・抗議等（「落とせー!!!」「捕るなー!!!」「今の判定はおかしい!!!」等）やスポーツマンシップに反する行為等は決して行わず、常に選手たちのお手本となる様にする。そして、再三の注意にも反して違反行為を続けた場合は審判や主催者の判断により、その当該者を試合から除外することや没収試合とすることもできる。
 - ⑮ 試合後のグラウンド整備やライン引き等は、その試合を行った両チームで協力して行う。そして、ベンチや応援席を離れる時はその度に清掃を行い、使用前よりもきれいにしゴミ等を一切残さないこと。
 - ⑯ グラウンド内では、禁煙とする。喫煙が可能な場所で喫煙をした後は、各個人が責任を持ってその場をその度にきれいに清掃し、歩きタバコやポイ捨ては絶対にしないこと。
 - ⑰ 試合中や練習中、また、移動中に事故や怪我等が生じた場合は各チームで全ての責任を持ち、速やかに、しかるべき処置を行うこと（主催者は一切の責任を負わない）。
※各チームで、選手の保険証（コピー）を持参しておくことが望ましい。

◆ご不明な点等があれば、責任者／大会実行委員長：吉田に、いつでも・お気軽にお問い合わせ下さい。

試合の進行について

◇日程＝令和元年6月30日（日）～11月10日（日）。

◇参加＝65チーム（1パート5チーム×13パート）。

◇形式＝各パートに分かれてのリーグ戦（1回戦ずつの総当たり戦）。

◇試合数＝各チーム：4試合ずつ。

◇進行＝自主対戦制（各パート内で試合の日時や会場等を決定し報告をする）。

※自主対戦制・・・抽選会でパート分け（組み合わせ）が決定した後、連絡係チームを中心として、同じパート内で連絡を取り合って期間内に対戦し、その結果を報告する仕組みです。具体的には、試合の「日時」や「グラウンド」「必要な用具（試合球やベース、石灰やラインカー等）」の手配を同じパートのチーム同士で行います。もし、グラウンド使用料が発生する場合は、その試合を行うチーム同士の負担となります（支払う割合・金額等についてはお互いに話し合って決定）。

（1）予定連絡＝各チームは、試合が出来る日程や会場を同パートの連絡係チームに連絡する。

（2）試合決定＝連絡係チームは各チームの予定を確認し、各試合の日程や会場を決定していく。

（3）予定報告＝連絡係チームは各試合の予定を大会本部／吉田へメールで報告する。

（4）予定更新＝大会本部／吉田は各試合の予定を「☆ちびマッチHP」に随時アップしていく。

（5）結果報告＝試合後、勝利チームは大会本部／吉田へ、「試合結果記入用紙」をFAXする。

※試合の翌日までにFAXが届いていない場合、その試合は無効となります。

→勝利チームは「試合結果記入用紙」のFAXを忘れないようにご注意ください。

（6）結果更新＝大会本部／吉田は各試合の結果を「☆ちびマッチHP」に随時アップしていく。

◇順位＝勝ち点制（勝利：5点、特別延長戦での勝利：4点、特別延長戦での敗北：2点、敗北：1点）

※複数のチームの勝ち点が同点で一位になった場合、該当チーム間の直接対決で成績の良いチームを一位とする。それでも同点の場合は、パート一位決定戦を別に行うか、主催者立ち会いの下での抽選によって一位を決める。

◇進出＝各パートの一位チーム／計13チームが福岡県代表チームとして九州大会に進出する。

◇試合球＝ダイワマルエス軟式J号試合球 ※試合をする両チームが2球ずつ出し合うこと。

◇参加費＝1チーム 2,000円

【試合結果記入用紙への記入と送信について】

1. 試合終了後にその場で「試合結果記入用紙」の該当箇所を記入し、その場で両チームで確認。

※「試合結果記入用紙」は抽選会で原本を渡し、「☆ちびマッチHP」からダウンロード可能。

2. その試合の勝利チームが「試合結果記入用紙」を大会本部／吉田へFAXする。

3. 大会本部／吉田がその結果（FAX用紙）を「☆ちびマッチHP」に随時アップしていく。

【注意点】①「試合結果記入用紙」には見やすい文字・数字をご記入下さい（そのままアップします）。

②「試合結果記入用紙」の送信が試合終了の連絡となります。

③試合の翌日までに「試合結果記入用紙」が届いていない場合、その試合は無効となります。

→勝利チームは「試合結果記入用紙」のFAXを忘れないようにご注意ください。

※「試合結果記入用紙」送信先：大会実行委員長／ちびマッチ応援団・団長 吉田 光寛

（FAX）092-510-7219

『第8回ちびマッチ選手権九州大会』 開催要綱

- ◇日程＝（一日目）令和元年11月23日（土）：開会式、一回戦
（二日目）令和元年11月24日（日）：二回戦、三回戦（準々決勝）
（三日目）令和元年11月30日（土）：準決勝、決勝戦、閉会式
（予備日）令和元年12月 1日（日）
- ◇会場＝諸田グラウンド（福岡県筑紫野市諸田10-1／筑紫野市総合保健福祉センター「カミーリヤ」前）
大佐野（おおざの）スポーツ公園（福岡県太宰府市大字大佐野807番地142外）
松川（まつこう）運動公園（福岡県太宰府市御笠5-3-1）
北谷（きたたに）運動公園（福岡県太宰府市大字北谷941番地1）
- ◇出場＝九州7県（福岡・佐賀・熊本・長崎・大分・宮崎・鹿児島）の代表32チーム
☆前年度優勝＝大野城少年野球 ☆前年度準優勝＝原北ウイングス ☆福岡県代表＝13チーム
☆佐賀県代表＝4チーム ☆熊本県代表＝3チーム ☆長崎県代表＝2チーム
☆大分県代表＝2チーム ☆宮崎県代表＝2チーム ☆鹿児島県代表＝2チーム
☆実行委員会代表＝2チーム ※本部チーム＝実行委員会チーム等（別途連絡）
- ◇形式＝トーナメント戦
- ◇試合球＝ダイワマルエス軟式J号試合球 ※大会実行委員会でご準備致します。
- ◇参加費＝1チーム 8,000円
- ◇主将・監督＝各試合の15分前に、メンバー表（3部）を持って、各会場の大会本部に集合し、挨拶と握手、メンバー表の交換、先攻・後攻を決めるジャンケンを行う。
- ◇試合後のグラウンド整備・次の試合のライン引き＝その試合で対戦した両チームで、協力して行う。
- ◇審判＝（一日目）同じパートで試合が無いチーム。 ※2名ずつのご協力をお願いします。
（二日目・三日目）全試合を大会実行委員会で担当します。
- ◇表彰＝☆優勝／優勝カップ、優勝トロフィー、賞状、金メダル（15個）、副賞
☆準優勝／準優勝盾、賞状、銀メダル（15個）、副賞
☆第三位（2チーム）／賞状、銅メダル（15個）、副賞
☆最優秀選手賞（1名） ☆敢闘賞（3名）
☆最優秀入場行進賞（1チーム） ☆最優秀チーム紹介アナウンス賞（1名）

開会式

（一日目）令和元年11月23日（土） 9：30開始 諸田グラウンドにて。

@駐車台数／各チーム**8台ずつまで**（厳守下さい）。

@会場（駐車場・グラウンド）への入場／8：00～可能。

@受付／9：00～9：25。

@選手集合／9：15。

@監督会議／9：15～。

@入場行進／プラカードガールと自チームを紹介するアナウンサーは、

選手以外の女性（上級生・お母さん・おばあちゃん・姉妹・OB、等）が担当する。

@国歌独唱／梅谷 心愛（うめたにこころ）さん

@始球式／ピッチャー：梅谷心愛さん、バッター：最優秀チーム紹介アナウンス賞を受賞された女性の方、
キャッチャー：最優秀入場行進賞チームのキャプテン、審判：実行委員会チーム代表選手

※進出決定後にお送りする
“駐車許可証”がある車
のみ入場可、駐車可。
※各試合会場では各チーム
12台ずつまで駐車可。

ちびマツチ選手権大会

第 1 回 (2012年)	Aブロック Bブロック	優勝 準第3位 優勝 準第3位	優勝 準第3位 優勝 準第3位	優勝 準第3位 優勝 準第3位	宇美ジュニアーズ 照葉岡ボムバーズ 大野リトルファイターズ 中原少年野球クラブ 大野城少年野球
第 2 回 (2013年)	優勝 準第3位	優勝 準第3位	優勝 準第3位	月の浦フェニックス 大野葉ハニターズ	
第 3 回 (2014年)	優勝 準第3位	優勝 準第3位	優勝 準第3位	弓削キニクス 二日市ジュニアーズ 甘木ゴールデンフェニックス	
第 4 回 (2015年)	優勝 準第3位	優勝 準第3位	優勝 準第3位	福岡三苦ヤンキーズ 泗水ウエストレイズ 清水スカイヤーズ	
第 5 回 (2016年)	優勝 準第3位	優勝 準第3位	優勝 準第3位	福岡三苦ヤンキーズ 泗水ウエストレイズ 筑紫野リトルホークス	
第 6 回 (2017年)	優勝 準第3位	優勝 準第3位	優勝 準第3位	大野城少年野球 中間南ドリムス 福岡三苦ヤンキー	
第 7 回 (2018年)	優勝 準第3位 準第3位	優勝 準第3位 準第3位	優勝 準第3位 準第3位	大野城少年野球 原北ウイングス 青葉ベースボールクラブ 西原村学童野球クラブ	